

公表:令和 7年 3月 13日

事業所名 多機能型児童デイサービス ソイネ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			十分なスペースを整 えている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				中高生を対象としているた め、女性スタッフがあと一人い ると尚安心
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			配線が床へそのまま にならないよう配線カ バーなどを使用してい ます	現状問題ないが、身体障害 や知的がある児童に対しては 今後配慮すべき工夫や課題が 出てくるかもしれない
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			月に一度の事業所内 相談、連絡ノート、 LINEを用いて把握し た上で反映している。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○				
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			カリキュラム以外にも イベントを定期的に行 うことで固定化しない ようにしている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			1ヶ月ごとに目標を設 定し、降所前に振り返 りを記入している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○				

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				○	現状対象児童がいないため、必要の応じて随時実施する。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	現状対象児童がいないため、必要の応じて随時実施する。
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	現状対象児童がいないため、今後対応していく。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○	他事業所と連携し、コンテンツを通し事業所外の子どもと関わる機会を設定している。
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳や月に1回面談を行い、共通理解に心がけている。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			連絡帳や公式ラインを通じて伝えている。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所を知ってもらえるよう全ての方を対象にした相談会を開催している。	公式LINEにて実施している
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		対象者がいない、必要に応じて対応する。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			食事提供は行っていないが、各児童のアレルギー把握、医師の指示書があった場合に保護者に提出をお願いしている。また看護師スタッフと共にアナフィラキシーショックが起きた際の対応に備えている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			社内研修を通じて事例を確認している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 7年 3月 13日

事業所名 多機能型児童デイサービス ソイネ

事業所名 児童デイサービスソイネ

保護者等数(児童数) 36 回収数 15 割合 42%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15					
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		8		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15					
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13			2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	1	8		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1		7		今後必要に応じて検討していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			6		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15					連絡ノートや公式ラインを使って情報伝達を行っています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14			1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13			2		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13			2		契約時に説明を行うなど、今後新規の方にも理解してもらえるよう工夫を行っていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			2		契約時に説明を行うなど、今後新規の方にも理解してもらえるよう工夫を行っていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	3				引き続き居場所や楽しい場所となるよう努めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15					引き続き満足していただけるよう努めていきます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所名 多機能型児童デイサービス ソイネ

公表:令和 7年 3月 13日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースを整えている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				中高生を対象としているため、女性スタッフがあと一人いると尚安心
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			配線が床へそのままにならないよう配線カバーなどを使用しています	現状問題ないが、身体障害や知的がある児童に対しては今後配慮すべき工夫や課題が出てくるかもしれない
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			空気清浄機を常備したり等しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			月に一度の事業所内相談、連絡ノート、LINEを用いて把握した上で反映している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○					
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			カリキュラム以外にもイベントを定期的に行うことで固定化しないようにしている。		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○					
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○					
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○					
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○					
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○		現状対象児童がいないため、必要に応じて随時実施する。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						現状対象児童がいないため、必要に応じて随時実施する。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				○		対象児童がいないため、契約があり次第随時実施する。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				○		対象児童がいないため、契約があり次第随時実施する。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				○		対象児童がいない、また対象年齢が中学卒業後の児童のため、契約があり次第随時関係機関と連携する。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか						
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○					

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				公式LINEにて実施している
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				個々人情報のため個人Lineで相談したい時に連絡がとれる体制を整えている
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				社内研修を通じて事例を確認している。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			対象児童がいないため、契約があり次第随時実施する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。